

No.	12-2-5	場所	中川村四徳	次世代への継承キーワード
名称	四徳川が突き当たって傾いた家			地形・地質理解 / 災害現象理解
災害現象	家屋の被災			河川
補足事項				支流
				四徳川

概要	<p>中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。</p> <p>●体験談：向山雅重</p> <p>私の知り合いの小松さんという人の家は、斜面の裾ではなく、四徳川の河床の中に残った小高いところにあった。(中略)「俺の家は高いところにあるから大丈夫だ。ことに、物置や土蔵は低いところにあるが、上座敷が一番いいところだからここは大丈夫だろうと思って家の大事な物その上を座敷に集めておった。そうしたら、山抜けをしてきた、土砂が河床を一気に埋め、四徳川の本流がその座敷へ真直ぐぶつかってきた。」(中略)つまり、山抜けなんかがして災害が起きるということは、普通の常識ではとても想像できないひどいものであるということが分かります。</p> <p style="text-align: right;">(「伊那谷と災害」四徳の災害 p.2)</p>
----	--

記録



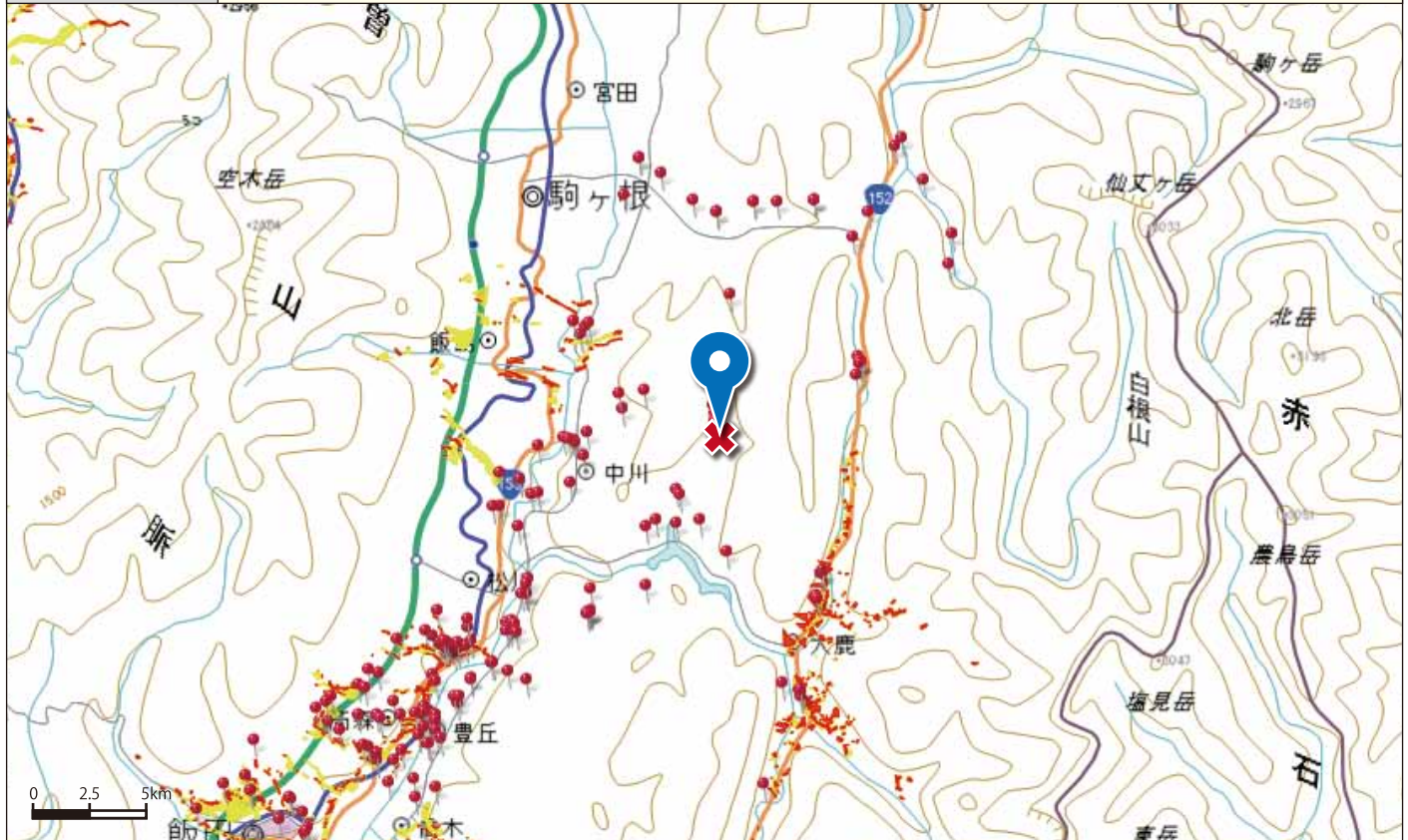
四徳川が突き当たって傾いた家屋

出典	「中川村の災害誌」p.5/「伊那谷と災害」四徳の災害 p.2
備考	

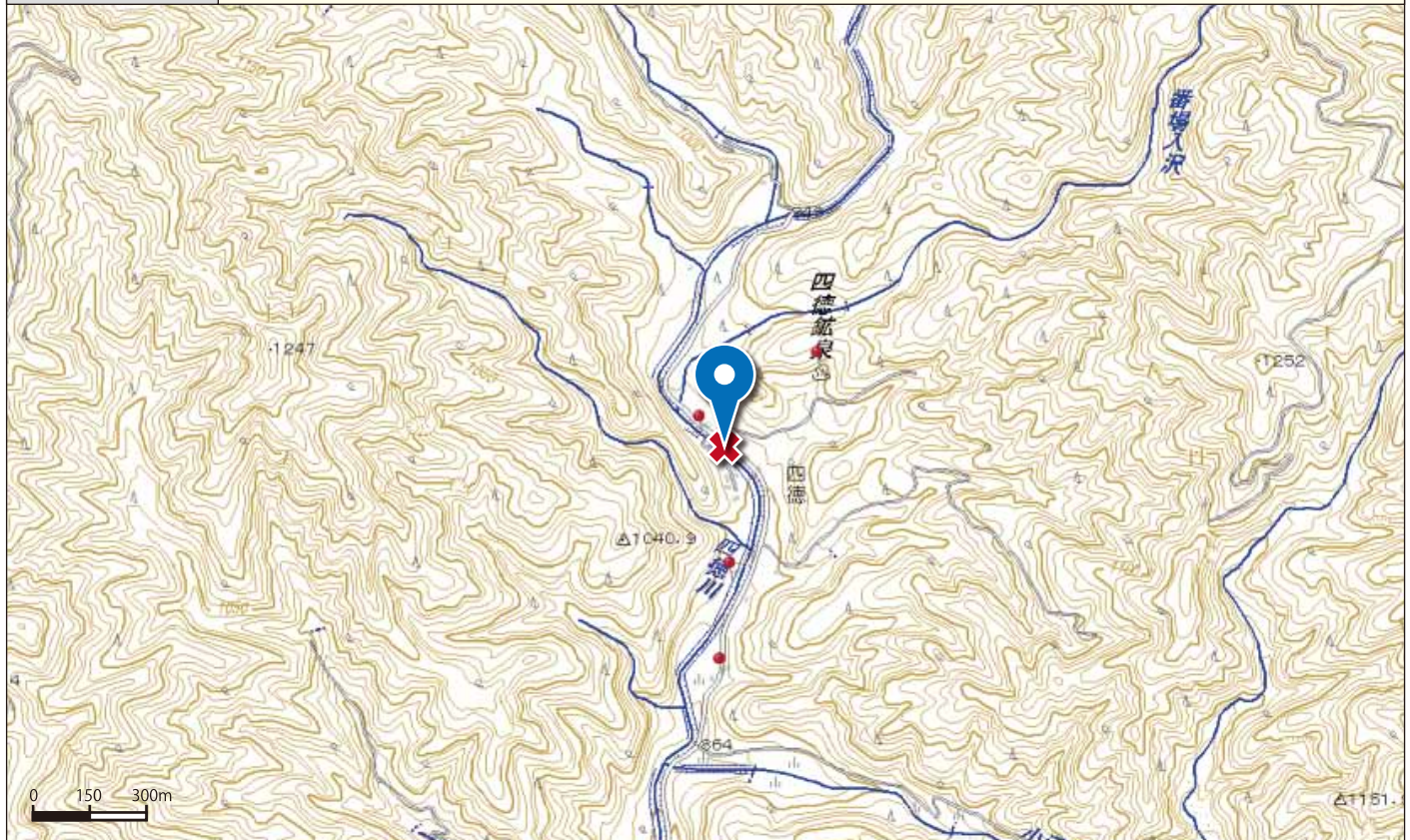
No.	12-2-5	場所	中川村四徳	緯度	35.652388
-----	--------	----	-------	----	-----------

名称	四徳川が突き当たって傾いた家	経度	138.005737
----	----------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---